

第七十七回帝國議會 酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案外二件委員會會議錄(速記)第一回

付託議案
酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案(政府提出)第一號
昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)第二號
昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(關東州朝鮮總督府臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)第三號

レマデ暫時休憩ヲ致シマス
午後四時十七分休憩

會議

昭和十六年十一月十七日(月曜日)午後五時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 櫻井兵五郎君
理事中村 梅吉君 理事松村 光三君
理事森下 國雄君 理事服部 岩吉君
理事水谷長三郎君
伊藤 五郎君 池本甚四郎君
宇賀 四郎君 馬岡 次郎君
小山倉之助君 岡本實太郎君
加藤 知正君 勝 正憲君
小林 絹治君 小谷 節夫君

出席國務大臣左ノ如シ
大藏大臣 賀屋 興宣君
出席政府委員左ノ如シ
大藏次官 谷口 恒二君

ノ職ヲ汚スコトニ致シマス、極メテ非才デアリマシテ不行届ノコトガ多イト思ヒマスガ、ドウゾ各位ノ御協力ヲ願ヒマシテ任務ヲ全ウ致シタイト存ジマス、宜シク御願ヒ致シマス、是ヨリ引續キ理事ノ互選ヲ行ヒマス

○伊藤(五)委員 理事ハ其ノ數ヲ六名トシ、委員長ニ於テ御指名セラレントヲ望ミマス

○櫻井委員長 伊藤君ノ御發議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○櫻井委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ左様ニ致シマス、只今ヨリ理事六名ノ氏名ヲ申上ゲマス

- 佐藤洋之助君 中村 梅吉君
松村 光三君 森下 國雄君
服部 岩吉君 水谷長三郎君
以上六名デアリマス、引續イテ會議ヲ致シタイト思ヒマスガ、大藏大臣ガ豫算委員會ニ出席セラルル都合モアリマシテ、豫算委員會ガ終リマシテ、其ノ次ニ本會議ガ開ケマス間ニ相當ノ時間ガアルト思ヒマス、豫算委員會ガ終了致シマシタナラバ直チニ御參集ヲ願ツテ會議ヲ續ケタイト思ヒマス、ソ

○紫安投票管理者 先例ニ依リマシテ、私ガ年長ノ故ヲ以テ投票管理者トナリ、是ヨリ委員長及ビ理事ノ互選ヲ行ヒマス

○伊藤(五)委員 投票ヲ用ヒズ、櫻井兵五郎君ヲ委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○紫安投票管理者 伊藤君ノ意見ニ御異議ナイト認メマス、仍テ櫻井君ガ委員長ニ御當選ニナリマシタ

〔拍手起ル〕

○櫻井委員長 御推舉ヲ蒙リマシテ委員長

小山倉之助君 岡本實太郎君
加藤 知正君 勝 正憲君
小谷 節夫君 小林 絹治君
櫻井兵五郎君 高島龜太郎君
武田徳三郎君 中村 梅吉君
西川 貞一君 馬場 元治君
藤本 捨助君 松村 光三君
紫安新九郎君 森 肇君
森下 國雄君 渡邊玉三郎君
板谷 順助君 服部 岩吉君
田川大吉郎君 水谷長三郎君
森田 福市君 佐竹 晴記君

〔年長者紫安新九郎君投票管理者ト爲ル〕

○紫安投票管理者 先例ニ依リマシテ、私ガ年長ノ故ヲ以テ投票管理者トナリ、是ヨリ委員長及ビ理事ノ互選ヲ行ヒマス

○伊藤(五)委員 投票ヲ用ヒズ、櫻井兵五郎君ヲ委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○紫安投票管理者 伊藤君ノ意見ニ御異議ナイト認メマス、仍テ櫻井君ガ委員長ニ御當選ニナリマシタ

〔拍手起ル〕

○櫻井委員長 御推舉ヲ蒙リマシテ委員長

委員會成立

本委員ハ昭和十六年十一月十七日(月曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

- 伊藤 五郎君 池本甚四郎君
出井 兵吉君 宇賀 四郎君
馬岡 次郎君 小山倉之助君
岡本實太郎君 加藤 知正君
勝 正憲君 金澤 正雄君
菊地養之輔君 小谷 節夫君
小林 絹治君 佐藤洋之助君
櫻井兵五郎君 田万 清臣君
高島龜太郎君 武田徳三郎君
津原 武君 豐田 收君
中村 梅吉君 西川 貞一君
馬場 元治君 藤本 捨助君
松村 光三君 紫安新九郎君
森 肇君 森下 國雄君
渡邊玉三郎君 板谷 順助君
服部 岩吉君 田川大吉郎君
富吉 榮二君 水谷長三郎君
森田 福市君 佐竹 晴記君

同日午後四時十四分委員長理事互選ノ爲委員參集ス

其ノ氏名左ノ如シ

伊藤 五郎君 池本甚四郎君
宇賀 四郎君 馬岡 次郎君

大藏省主計局長 木内 四郎君  
 大藏省主稅局長 松隈 秀雄君  
 大藏省銀行局長 相田 岩夫君  
 大藏省爲替局長 原口 武夫君  
 大藏書記官 濱田 徳海君  
 大藏書記官 植木庚子郎君  
 大藏書記官 深澤 家治君  
 大藏書記官 山際 正道君  
 專賣局長官 山田鐵之助君  
 國民貯蓄獎勵局長 栗原 修君  
 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案(政府提出)  
 昭和十二年法律第八十四號中改正法律案  
 (支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲  
 公債發行ニ關スル件)(政府提出)  
 昭和十三年法律第二十三號中改正法律案  
 (關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太  
 廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ  
 相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ  
 繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)

○櫻井委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ  
 マス、酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案、昭  
 和十二年法律第八十四號中改正法律案、支  
 那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發  
 行ニ關スル件、昭和十三年法律第二十三號  
 中改正法律案、關東局、朝鮮總督府、臺灣  
 總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅  
 收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費  
 特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件ヲ一括  
 シテ議題ニ供シ、大藏大臣ノ説明ヲ求メマ  
 ○賀屋國務大臣 本委員會ニ付託ナリマ  
 シタ酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案外二件  
 ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ説明致シ  
 タイト存ジマス  
 先ヅ酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案ニ付

テ御説明申上ゲマス、本法律案ハ本會議ニ  
 於テモ説明致シマシタ如ク、政府ハ、現下  
 ノ經濟諸情勢ニ照シ、早急實施ヲ要スルト  
 認メラルル購買力ノ吸收、消費ノ抑制ヲ圖  
 ルト共ニ、臨時軍事費追加豫算ノ財源ノ一  
 部ニ充ツル爲メ、此ノ際酒稅、遊興飲食稅、  
 其ノ他間接稅ヲ中心トスル増稅ヲ行フノ要  
 アリト認メ、此ノ法案ヲ本臨時議會ニ提案  
 スルコトト致シタ次第デアリマス

今回ノ増稅案ノ作成ニ當リマシテハ、奢  
 侈の消費ニ對シ可及的重課スルト共ニ、國  
 民生活上此ノ際トシテハ比較的不急ト認メ  
 ラルル方面ノ消費ニ對シ、或ル程度稅率ヲ  
 引上ゲ又ハ課稅範圍ヲ擴張スルト云フ方針  
 ヲ採用致シタノデアリマス

以下今次増稅案ノ内容ニ付キマシテ説明  
 致シタイト存ジマス、先ヅ酒稅ニ付キマシ  
 テハ、總稅額ニ於テ大體五割程度ノ増徴ヲ  
 行フコトト相成リマス、酒類中消費高ノ最  
 モ多イ清酒ニ付テ申シマスレバ、現在一石  
 ニ付キ造石稅四十五圓、庫出稅二十五圓、  
 計七十圓ノ稅額デアリマスルガ、今回ハ庫出  
 稅ヲ三十圓引上ゲマシテ、造石稅ト合セマ  
 スルト合計百圓ト相成リマス、又麥酒ニ付  
 キマシテハ庫出稅ノ稅率ヲ一石ニ付キ二十  
 八圓五十錢引上ゲマシタ、サウ致シマスル  
 ト、普通壘一本ニ付キ約十錢ノ増稅ト相成  
 ルノデアリマス、其ノ他ノ酒類、即チ合成  
 清酒、白酒、味淋、濁酒、燒酎、果實酒及ビ  
 雜酒ニ付キマシテモ、清酒トノ權衡ヲ保持  
 スルヤウ、主トシテ庫出稅ニ付キマシテソ  
 レゾレ適當ト認ムル稅率ノ引上ゲヲ行フコ  
 トト致シテ居ルノデアリマス、尙ホ右ノ外  
 特等酒類、特ニ高價ナル酒類ニ付キマシ  
 テハ新タニ價格ノ百分ノ二十、又ハ百分

ノ三十二ニ相當スル金額ヲ酒類庫出稅ニ加算  
 シテ課稅スルコトト致シタノデアリマス  
 次ニ清涼飲料稅ニ付キマシテハ、總稅額  
 ニ於テ五割程度ノ増徴ヲ行フコトト致シタ  
 ノデアリマスガ、増徴割合ハ第一種玉ラム  
 ネニ輕ク、第三種ソーダ水等ニ重ク相成ツテ  
 居ルノデアリマス、第二種サイダー等ニ付キ  
 マシテハ一石ニ付キ十圓、即チ普通壘一本  
 ニ付キ二錢ノ増稅ト相成ルノデアリマス  
 次ニ砂糖消費稅ニ付キマシテハ、現在ノ  
 負擔、消費ノ性質等ニ照シ増稅ノ程度ヲ比  
 較的輕ク致シマシテ、第二種乙、即チ白砂  
 糖等ニ付テハ、現行百斤ニ付キ十圓ノ稅率  
 デアリマスガ、之ヲ十二圓ニ引上ゲ、其ノ  
 他ノ砂糖、糖水及ビ糖蜜ニ付テモ是ト權衡  
 ヲ保持スルヤウ、ソレノ適當ト認ムル稅  
 率ノ引上ゲ致スコトニ相成ツタノデアリマ  
 ス、此ノ際白砂糖一斤ニ付キ二錢程度ノ増  
 徴ハ已ムヲ得ナイ所デアルト考ヘテ居ルノ  
 デアリマス

次ニ物品稅ノ増徴案ニ付キ説明致シマス、  
 物品稅中第一種及ビ第二種ハ御承知ノ如ク  
 奢侈の性質ヲ有スル物品竝ニ國民生活上比  
 較的の不急ト認メラレ、又ハ其ノ消費方負擔  
 カヲ伴ツテ居ルト認メラルル物品ニ付キ廣  
 ク課稅ヲスルモノデアリマスガ、今次増稅  
 ノ趣旨ニ顧ミマシテ奢侈の性質ヲ特ニ濃厚  
 デアルト認メラレマスル甲類ノ物品ニ付キ  
 マシテハ、現行稅率百分ノ二十ヲ百分ノ五  
 十ニ引上ゲ、其ノ他ノ物品即チ乙類ニ付キ  
 マシテハ現行稅率百分ノ十ヲ原則トシテ百  
 分ノ二十ニ引上ゲルコトト致シタノデアリ  
 マス、尙又現行ノ課稅最低限ノ金額ハ之ヲ  
 或ル程度引下ゲマス共ニ、課稅物品ノ擴  
 張ヲ行フコトト致シマシタ、即チ庭木、庭

石、簾、釣燈籠、茶道具、扇子、團扇、  
 花輪、花束、釣用具、煙火、大理石等ヲ乙  
 類ニ追加シマシテ、百分ノ二十ノ稅率ヲ以  
 テ課稅スルコトト致シ、又電球、懐中電燈、  
 魔法壘、計算器、「タイプライター」、「ミシ  
 ン」板硝子、紙、齒磨、綠茶、調味料等ヲ  
 新タニ丙類トシテ追加シマシタ、之ニ百分  
 ノ十ノ稅率ヲ以テ課稅スルコトト致シテ居  
 ルノデアリマス、尤モ是等ノ物品ニ付キマ  
 シテハ必要ニ應ジソレノ適當ト認ムル課  
 稅最低限ノ金額ヲ設ケマスルト共ニ、特殊  
 ノモノハ之ヲ課稅外ニ置ク見込デアリマス、  
 物品稅中、第三種ニ付キマシテハ、燐寸ノ  
 稅率ハ之ヲ据置クコトト致シタノデアリマ  
 スルガ、砂糖トノ權衡ヲ考ヘマシテ、餡等  
 ニ付キ二割程度増徴シマスルト共ニ、新タ  
 ニ「サッカリン」ニ對シ「キログラム」ニ付  
 キ十圓ノ稅率ヲ以テ課稅スルコトト致シテ  
 居ルノデアリマス、以上増徴ノ結果、物品  
 稅ハ總稅額ニ於テ大體十七割程度ノ増加ヲ  
 來ス見込デアリマス  
 次ニ遊興飲食稅ニ付キマシテハ、今次増  
 稅ノ趣旨ニ顧ミ最モ大幅ノ増稅ヲ行フコト  
 ト致シマシタ、即チ藝妓ノ花代ニ付テハ現  
 行稅率百分ノ三十ヲ百分ノ百ニ引上ゲ、其  
 ノ他ノ花代竝ニ花代以外ノ料金ニ付テモ相  
 當ノ増徴ヲ致ス案デアリマス、又花代以外  
 ノ料金ニ對スル課稅最低限ノ撤廢又ハ引下  
 ヲ行フコトト致シマシタ、例ヘバ花代ヲ伴  
 ハザル飲食料金ニ付テハ、現在ノ課稅最低  
 限三圓ヲ一圓五十錢ニ引下ゲルコトト致シ  
 テ居ルノデアリマス、尙ホ食事代ヲ除キ五圓  
 以上ノ宿泊料ニ對シテモ、新タニ百分ノ二  
 十又ハ百分ノ三十ノ稅率ヲ以テ課稅スルコ  
 トト致シマシタ、以上ノ増徴ニ依リ遊興飲

食税ハ總稅額ニ於テ大體二十五割程度ノ増加トナル見込デアリマス

入場税ニ付キマシテハ、現行稅率百分ノ

十乃至百分ノ三十デアリマスルノヲ、百分ノ二十乃至百分ノ八十ニ引上グルコトト致シテ居リマス、但シ現行十九錢ノ課稅最低限ハ之ヲ據置クト共ニ、活動寫眞ノ大部分ニ付キマシテハ、稅率ヲ百分ノ二十ト致シテ居ルノデアリマス、尙ホ特別入場税ニ付キマシテモ適當ト認ムル増徴ヲ行フコトト致シタノデアリマス、入場税ハ總稅額ニ於テ大體十二割ノ増徴ト相成ツテ居リマス

次ニ通行稅ニ付キマシテハ他ノ租稅ノ増徴トノ權衡ヲ考慮シ、相當ノ増徴ヲ行フコトト致シタノデアリマスガ、一等及ビ二等ニ付キマシテハ引上割合ヲ特ニ多クシ、二等ハ三等ノ五倍、一等ハ三等ノ十倍ニ稅率ヲ定メタノデアリマス、又急行料金等ニ對スル稅率ニ付キマシテモ相當ノ引上ヲ行フト共ニ、新タニ寢臺料金ニ對シマシテモ百分ノ十乃至百分ノ三十ノ稅率ヲ以テ課稅スルコトト致シテ居リマス

次ニ建築稅ニ付キマシテハ課稅範圍ヲ擴張シテ旅館、遊技場、俱樂部等ノ建物ニモ課稅スルト共ニ、現行稅率百分ノ十ヲ百分ノ二十ニ引上グル案デアリマス

次ニ骨牌稅ニ付テハ十割程度ノ増徴ヲ行ヒ、又物品切手ニ對スル印紙稅ニ付テモ此ノ際十割程度ノ増徴ヲ行フコトト致シテアルノデアリマス

以上今次増稅案ノ概要ヲ御說明申上ゲタノデアリマスルガ、今回ノ増稅ニ依リマシテ、平年度ニ於キマシテハ、酒稅ノ増加一億五千二百二十餘萬圓、清涼飲料稅ノ増加四百四十餘萬圓、砂糖消費稅ノ増加二千九百五十餘

萬圓、物品稅ノ増加一億三千四百十餘萬圓、遊興飲食稅ノ増加二億三千五百餘萬圓、通行稅ノ増加四千九百餘萬圓、入場稅ノ増加二千七百五十餘萬圓、建築稅ノ増加八十餘萬圓、骨牌稅ノ増加百二十餘萬圓、印紙稅ノ増加百七十餘萬圓、合計六億三千五百九十餘萬圓ノ國庫收入ノ増加ト相成ルノデアリマス、昭和十六年度ニ於キマシテハ、施行期日ガ年度ノ終リニ稍、近イ關係上、合計一億七千三百十餘萬圓ノ増加トナル見込デアリマス、此ノ昭和十六年度ノ増收額ハ、臨時軍事費追加豫算ノ財源トシテ、一般會計ヨリ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトト致シテ居ルノデアリマス

次ニ地方分與稅法中改正ハ、入場稅及ビ遊興飲食稅ノ増徴ニ伴フ配付稅分與割合ノ改訂ニ關スルモノデアリマス、地方分與稅法ニ依リマスレバ、入場稅及ビ遊興飲食稅ノ徵收額ノ各半額ヲ地方分與稅分與金特別會計ニ繰入レ分與スルコトトナツテ居ルノデアリマスガ、今回入場稅及ビ遊興飲食稅ニ付キ右ニ說明致シマシタヤウナ増徴ヲ行フコトトナリマシタノデ、此ノ兩稅ノ配付稅總額ニ變動ヲ來シマセヌヤウ、分與割合ヲ本年度分ニ付テハ百分ノ二九・三五、平年度分ニ付キマシテハ、百分ノ一五・一八ニ改正セントスルモノデアリマス、以上今次増稅案ニ付キ說明致シタ次第デアリマス

次ニ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ニ付テ說明致シマス、本法律案提出ノ理由ハ本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、昭和十三年法律第二十三號ノ規定ニ依リマシテ、關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及ビ樺太廳ノ各特別會計ヨリ其ノ租稅收入又ハ煙草專賣收入ノ一部ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、然ル所今同新タニ朝鮮總督府特別會計ニ於ケル酒稅及ビ朝鮮、臺灣兩總督府特別會計及ビ樺太廳ノ特別會計ニ於キマシテ、骨牌稅ノ昭和十六年度以降ノ増徴ニ因ル増收額、又臺灣總督府特別會計ニ於ケル遊興飲食稅ヲ創設シマシタコトニ因ル收入額並ニ朝鮮總督府及ビ臺灣總督府ノ各特別會計ニ於ケル今回ノ煙草定價改正ニ因ル專賣收入増加額ノ一部ヲ每年度豫算ノ定メマスル所ニ依ツテ、臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ致シマシタル所右ノ中遊興飲食稅ノ分ニ付キマシテハ、現行法ノ規定ニ依ツテ繰入ガ出來ルノデアリマスガ、其ノ他ノ分ニ付キマシテハ現行法ニ其ノ規定ガアリマセヌ爲ニ、右法律中改正法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、

以上三件ノ法律案ニ付キマシテハ何卒御審議ノ上御贊成ヲ御願ヒ致シマス

櫻井委員長 此ノ際御諮リヲ致シマス、質疑ハ次會ヨリト致シ、若シ資料ノ御要求ガアリマスレバ御要求ヲ願フテ、本日ハ此ノ程度デ議事ヲ止メタラドウカト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

櫻井委員長 ソレデハ御異議ナシト認メマシテ左様ニ決定致シマス

松村(光)委員 此ノ際資料ヲ要求シテ置キマス

第一、昭和十二年度乃至十六年度ノ歲入ヲ公債、稅收入其ノ他ニ分類シ、其ノ内譯金額及ビ割合ノ表

第二、昭和十二年度乃至十六年度直接稅、間接稅ノ割合表

第三、直接稅及ビ間接稅ニ關スル政府ノ見タル分類表——是ハ議論ガアリマスカラ政府ノ見タル分類表

第四、以上十二年度以降十六年度ノ公債發行濟額、日銀、預金部、郵便局其ノ他ノ分類內譯表及ビ割合

第五、煙草各品種別昭和十六年度賣上見込額明細表——各品種別明細金額

第六、鐵道——是ハ鐵道省所管デゴザイマスガ、鐵道船舶旅客各等別昭和十六年度見込額內譯割合表

第七、遞信省特別會計中電信電話其ノ他郵便葉書、切手——切手ハ更ニ二錢、四錢、四錢以上ノ內譯表

以上ノ七項目ニ關スル資料ヲ御願ヒ致シマス

森田(福)委員 昭和十五年度カラ現在マデノ遊興飲食稅ニ關スル豫算ト實際トノ比

第六類第一號 酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案外二件委員會議錄 第一回 昭和十六年十一月十七日

較表ヲ一ツト、ソレカラ今日マデノ公債ヲ發行スベキモノデ發行濟ニナツテ居ルモノ、即チ前ニ決定シテ居ル公債額中公債ヲ發行シテ居ルモノト、其ノ中日本銀行ニ滯ツテ居ル——マダ賣ツテ居ナイ日本銀行ニ手持ニナツテ居ルモノ、此ノ二點ヲ御願ヒ致シマス

○松村(光)委員 重ネテ御願ヒ致シマスガ、今要求シマシタ資料ハ、明日ノ質疑ニ要リマスノデスカラ、分ラナイ分ハ仕方ガナイガ、分ル程度ニ於テ成べく早く、細カク出來ナケレバ大體ノ所デ結構デアリマスカラ御願ヒ致シタウゴザイマス

○櫻井委員長 他ニ御發議ハゴザイマセスカ——一寸政府ニ希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、只今松村君カラモ御話ガアリマシタ通り、議事ハモウ明日カ、乃至最大限ニ明後日ノ午前中ト考ヘラルル譯デアリマスカラ、明日大體質疑ノ大部分ハ終了サレルコトト思ヒマスガ、其ノ質疑ノ資料トシテ必要ト云フ譯デアリマスカラ、極力資料ハ御急ギノ上御出シアランコトヲ切ニ希望致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會ヲ致スコトトシ、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時五十二分散會